

ふくい県民 100人 アンケート

新型コロナウイルスのワクチンが、県内でも一部の医療従事者に先行接種された。今後、医療従事者への接種が本格化し、65歳以上の高齢者を皮切りにした住民への接種が始まるのは4月中旬の予定となっている。本紙は県民100人にアンケートし、ワクチンの接種や安全性に対する考えを聞いた。(玉田能成)

半数「様子見てから」

コロナワクチン④ 接種希望しますか？

ワクチンの接種を希望しますか
「分からない」

6

様子を見てから接種したい
51

安全性、副反応 慎重に見極め

「ワクチン接種を希望しますか？」。まず率直な意見を聞いたところ、「様子を見てから接種したい」と回答した人が半数を占めた。「周囲の人にうつしたくない」「高齢だから」と

接種による安心感を得たい一方、ワクチンの安全性や副反応を慎重に見極めたいという心境が垣間見えた。「様子を見てから接種したい」と回答したのは五十人。ワクチンの安全性と

副反応を懸念材料に挙げる人が大半だった。福井市のパートの女性(宝)や大野市の飲食業の男性(四)は「過去に他のワクチンを接種して熱が出たことがあるため」などと副反応を不安視

する。

回答理由	人数	性別・年齢・職業
【早く接種したい】		
多くの人が接種することで社会として効果があると思う	41	41歳男性、会社員
高齢者の重症化リスクが怖い	73	73歳女性、無職
職業柄接種しなければと思う	55	55歳女性、飲食業
【様子を見てから接種したい】		
高齢者や医療従事者など早く受けた方がいい人がある	35	35歳女性、団体職員
効果が分からず、開発期間も短い。誰も保証できず不安	53	53歳女性、会社員
感染者が多い地域ではなく、あまり必要性を感じない	38	38歳男性、会社員
【接種したくない】		
中長期的な副反応の実態が不明で心配	46	46歳男性、僧侶
予防とはいえ、異物を体内に入れることに抵抗がある	37	37歳男性、会社員
【分からない】		
接種して安心したい気持ちもあるが、不安も同じくらいある	27	27歳女性、会社員
自分に判断できるだけの情報がない	39	39歳男性、塾講師

「早く接種したい」と答えたのは三十二人。自身に加え、身近な人に感染させてしまつリスクを抑えたいとの声が目立つ。「早く打つた方がいろいろな行動制限がなくなる」(二十八歳男性、県職員)と普段通りの生活を求める声もあった。「様子を見てから」を含め、接種を希望すると回答した六十五歳以上の高齢者は二十五人。このうち「高齢者は重症化しやすいため」などと年齢を理由にした人は八人だった。一方で副反応への懸念などを理由に「接種したくない」と回答した十一人のうち、小浜市の女性ピアノ講師(モ)は「年齢的なこと」とし、接種への考え方に違いがあることもうかがえた。「分からない」と答えたのは六人で、あわら市の男性塾講師(モ)は「自分に判断できるだけの情報がない」とワクチンに関する情報量の少なさに不安を感じていた。